

奥井晴香会員が日本学術振興会育志賞を受賞

部外表彰等候補者推薦委員会

日本気象学会では毎年、本学会以外の団体が主宰するいくつかの学術賞について受賞候補者を推薦しています。

このたび、気象学会からの推薦により奥井晴香会員（東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻）が「高解像度大気大循環モデルを用いた中層大気の遠隔結合における重力波の役割の研究」で、2023年度「日本学術振興会育志賞」を受賞されました。おめでとうございます。

受賞された奥井会員にお祝い申し上げますとともに、推薦にあたってご協力いただいた方々に感謝いたします。

今後も積極的に学会外の各賞への応募をしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。